

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	独立行政法人地域医療機能推進機構		
事業所の名称	独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院		
事業所の所在地	宮城県仙台市泉区紫山2丁目1-1		
主たる事業	医療業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>(1)エネルギーの推進 エアコンの適正な温度設定を継続します。 温室効果ガス排出抑制に効果のある省エネルギーに積極的に取り組みます。</p> <p>(2)省資源化の推進 コピー用紙の再利用を推進します。 会議の資料は、両面印刷を積極的に活用します。 詰め替え可能製品(リサイクルトナー等)使用を推進します。 個々の職員が節水、節電に努めます。</p> <p>(3)廃棄物の適正管理と減量化の推進 びん・カン・ペットボトル等の分別回収の徹底をします。医療廃棄物及び一般廃棄物の適正な管理に努めます。</p>		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019年度	基準排出量	3,825 t-CO ₂	基準原単位	0.1606
	目標年度	2022年度	目標排出量	3,710 t-CO ₂	目標原単位	0.1558
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020年度	排出量	3,766 t-CO ₂	排出原単位	0.1582
			削減率	1.54%	削減率	1.49%
	排出量等の増減理由	新型コロナウイルスの感染対策のため院内の換気を積極的に行ったことにより、特に病室のエアコンの負荷が増え電気の使用量は増えたものの調理器具の一部をスチームコンベクションに入れ替えることにより、LPGの使用量を削減した。また、院内全体の冷暖房時間を短縮したことにより、A重油の使用量を削減し全体としてはCO ₂ の排出量を削減することができた。				
	第2年度	2021年度	排出量	3,860 t-CO ₂	排出原単位	0.09316
			削減率	-0.92%	削減率	41.99%
	排出量等の増減理由	病院の移転に伴い、病院規模が拡大した。また新しい設備に対し使用方法を模索している段階であり、効率的なエネルギーの使用ができなかった。さらに、病院移転後9月末まで旧病院の建物内物品の整理のため通電を行ったことでエネルギー消費量が増えた。				
	第3年度	2022年度	排出量	3,646 t-CO ₂	排出原単位	0.1105
			削減率	4.67%	削減率	31.19%
	排出量等の増減理由	病院移転1年を経過し、効率的なエネルギーの使用方法を理解し、徐々に適切な運用できるようになった。				

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	54 %	目標年度	82 %	
	第1年度	57 %	実施状況の説明等	病院移転を控え新型機器の更新等は困難な状況であったが、計画通りエネルギー管理推進体制を整備するなどし、Co2の排出量を削減することができた。	
	第2年度	64 %	実施状況の説明等	病院の移転に伴い、大方の設備は新しいものに更新され個々の機器の効率化は図られた。一方で建物規模が大きくなったことと、新しい設備を効率的に使用方法が模索段階であり温室効果ガスの排出量が増えてしまった。	
	第3年度	82 %	実施状況の説明等	各室のエアコンを優先し、共用部のエアコンの使用を止めるなど新しい機器を効果的に使用できるようになった。また、旧病院の通電を止めたことで温室効果ガスの排出量を減らすことができた。	
選択対策の実施状況	項目			実施状況	
	ボイラーの給水及びブローの管理			実施済	
	蒸気トラップの管理			実施済	
	外気冷房			実施済	
	熱源設備 冷却水温度の適正管理			実施済	
	熱源設備 冷却水の水質管理			実施済	
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御			実施済	
	窓の断熱性向上			実施済	
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容		実施状況	
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	院内照明のLED化		実施済	
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	ボイラーの更新		実施済	
	廃棄物削減対策の実施	紙・びん・カン・ペットボトル等の分別回収の徹底とリサイクルの推進		実施済	